

## 1. 活動報告（事務局 記）

—10月3日（日）12名の会員が参加し、ビオトープ内の草刈り、竹林整備、除去草の収集・焼却の作業を実施しました。作業前には、観察隊活動日（16日）の段取り、宇部市政施行100周年記念式典への参加について話し合いを行いました。

—10月16日（土）親子自然観察隊は昆虫観察で、最初に説明を受けて、市道沿いに上流を目指し虫探しをしました。時々小雨の中で、トンボなど飛んでいる昆虫は少なかったのですが、元気よく昆虫を探していました。また、アケビの実を採って食べて味わっていました。東屋に帰り、捕まえた昆虫を確認し逃がしてやりました。今年は、稲作体験が無かったので、脱穀の体験もしてもらいました。最後に昆虫クイズをして、解隊式をしました。参加者は、親子17名（親7名、子10名）と会員14名でした。

—10月24日（日）13名の会員が参加し、水車のサイホン部分（流入水路）の修理、湿地帯の除草、薪の搬入、除去草の収集・焼却の作業を実施しました。作業前には、原谷会員から提供される石材の搬入および設置方法について話し合いを行いました。

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

—11月7日（日）維持活動（草刈り、駐車場草刈り）

—11月21日（日）維持活動（草刈り・エコアップ）

## 3. 来訪者の声

今回はありません。

## 4. 会員の声 【方言・なまり】（原田満洲夫 記）

現在「二俣瀬まちづくりサークル」では「二俣瀬の昔言葉全集」を編集中です。方言・なまりを交えて言葉を搜していますが二俣瀬独自の方言が案外少なく辞書で探すと標準語・一般使用後であると載っています。奈良時代よりこの二俣瀬は大道（昔の街道1号）が京都より大宰府までその後山陽道となってからもこの地域東西を抜けていて宿場町も奈良時代には（アタミの駅舎）や室町から江戸時代にかけて（河山〈山中〉駅舎）も賑わっていたことで言葉は京都からや九州大宰府・長崎からの入って来たものと思われる。

同じ山口県内でもこの山陽道沿いの方言と思っている言葉やなまりは標準語に近く自慢のできる言葉遣いであろうと確信している？

石川啄木短歌『一握の砂』より

ふるさとの なまり懐かし停車場の 人ごみの中に そを聞きゆく

## 5. 親子自然観察隊 【秋の昆虫採集と解隊式】 (管 哲郎 記)

今年最後の行事、昆虫採集と解隊式を行いました。あいにくの曇り空でしたが、幸いにも雨は降らず、無事に行事を終えることができました。

親子ともども20名ほどの隊員が集合し、網とカゴを持ち元気にフィールドへ出かけました。曇り空でトンボやチョウの出現がイマイチでしたが、カマキリやバッタなどがつかまって、それなりに隊員たちは楽しまれたようでした。なお、道すがらワレモコウ、ムラサキシキブなどの草花や、大きな“アケビ”を見つけ、道草を食ったりしましたが、予定通りの工程で昆虫採集を楽しみました。そのあと少し休憩し、“ムシ合わせ”を行いました。

ヤマトシジミ、キタキチョウ、マユタテアカネ、ヒメアカネ、オオアオイトトンボ、トノサマバッタ、タンボコオロギ、ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、コイナゴ、オオカマキリ、コカマキリ、ハラビロカマキリ、ヨコヅナサシガメなどが採集されました。

そのあとはビオトープ内に試験的に植えてあった稲を刈り取り、乾燥させてあったものを、手漕ぎと足ふみの脱穀機で稲穂を脱穀しました。特に、手漕ぎの脱穀は力が要り、小さな子には大変でしたが、頑張ってしっかり漕ぎました。脱穀した稲穂は「唐ミー」にかけられ良いイネと悪いイネに選別されました。

30分で脱穀を終え、最後に「生物クイズ」を行いました。鳴き声で生物を当てるクイズでみんな真剣に挑戦しました。なかなかむづかしいものもあり、勉強になったようです。

ちょうどお昼前になり、最後に「解隊式」を宣言し今年の行事を終了しました。なお、観察隊に使用された網とカゴは、隊員たちにプレゼントされ1年間のご褒美となりました。11月、12月の行事は中止しましたが、コロナウイルスが蔓延する中、親子自然観察隊はここまで無事何事もなく行事を終えてホッとしたところです。これも皆様の地道な努力のたまものだと感謝するものです、ご協力ありがとうございました。



昆虫採集の様子



アケビが取れました



稲穂の手こぎ



足ふみでの脱穀作業

### 親子自然観察隊の感想

#### ★竹内（母）

二回目の観察隊参加でしたが、普段では出来ない体験や学びが出来てとても良い経験となりました。昔ながらの脱穀体験をさせて頂き、脱穀する機械も皆初めて拝見し、体験して子供が楽しかったようで何度も稲を持ち並んで体験していたのには参加して良かったなと思いました。昆虫採集も普段の生活でみることのない昆虫もいて楽しかったです。親も興奮して探っていました。良い経験をありがとうございました。

#### ★溝邊睦

虫をたくさん捕まえられて楽しかったです。あけびが美味しくてびっくりしました。

#### ★溝邊義人

虫取りも楽しかったし、昔の道具を使っでの脱穀作業はとても楽しかったです。来年は田植えがあると聞いたのでとても楽しみです。

#### ★溝邊（母）

虫取りをする道中、山野草やどんぐりやあけびなど自然を楽しみながらの活動でよかったです！そして、虫合わせや、昔の道具を使っでの脱穀や、クイズの時間もとても子供達が楽しそうな姿がたくさんみれて良い1日でした。来年度も楽しみにしています！

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(68) コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* ゲンゴロウ科

成虫は3月～12月まで見られます。成虫で越冬するようで、1月でも池をさらうと網にかかってくるのですが、寒いので殆ど動くことはできないようです。近年県内でも数が増え始め、あちこちで見られるようになりました。ビオトープの池や湿地でも網で探ると見つけれられるほどで、うれしい限りです。いずれにしても「ナミゲンゴロウ」は全く見つかりませんが、コガタノゲンゴロウやクロゲンゴロウなどが増えてきたのは、休耕田が増え、農薬の使用量が減ったからではないかとも思えます。

ナミゲンゴロウの大きさは成虫で40mm前後、コガタノゲンゴロウは成虫で30mm弱でやや小さい。姿かたちはそっくりで、最初見つけたときには“ナミゲン“と思い興奮しましたが、後で調べてみると違ったのでガッカリしたものです。



ビオトープ産 コガタノゲンゴロウ



コガタノゲンゴロウ



右上より コガタゲンゴロウ  
左上：シマゲンゴロウ 左下：ハイイロゲンゴロウ



岩国市・コガタゲンとタガメ幼生

参考文献

- 福田晴夫他. 2005. 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方, 236pp, (株) 南方新社, 鹿児島.  
三田村敏正・他, 2018. 水生昆虫①ゲンゴロウ・ガムシ・ミズスマシ ハンドブック、  
176pp, (株) 文一総合出版、東京。

## 7. 会よりの連絡事項

来る11月3日 宇部市市制100周年の記念行事「うべの里アートフェスタ」へ作品展示を希望されましたが、当会が作成しているビオトープの立ち上げ時に作成した案内掲示板を掲示します。「二俣瀬まちづくりサークル」も提出しますので、立会者は両方兼ねる会員藤井・辻野と原田にて参加します。11月3日 旧吉部小学校 9時～16時 見学においでませ！

## 8. 編集後記 ( 原谷 一誠 記 )

今年度の多くの行事も、コロナ禍により、自粛されました。ビオトープの田んぼの稲作も中止され、親子自然観察隊も行事回数が減らされ、10月で解隊式になりました。来年度こそ、全ての行事が支障なく行えることを願っています。